



地球環境基金 シンポジウム

ポストコロナ時代に向けた 環境NGO/NPO活動の展望

地球環境基金では2020年度より、新型コロナウイルス感染拡大による環境活動への影響及び対応策について調査を進めて参りました。シンポジウムでは調査結果とそれを踏まえた取組みのご報告とともに、ポストコロナ時代を見据えて団体組織運営や活動の転換を図るうえでのヒント・きっかけとなる情報を提供させていただき予定です。今後の環境活動のさらなる発展の参考にもなるかと存じますのでぜひご参加ください。

2022年 3月24日 (木)

14:00-16:00 @Zoom

会場 オンライン開催 (Zoom)
※詳細はお申し込みされた方にご案内いたします

定員 100名程度
参加費 無料

申込方法

地球環境基金ホームページ
https://www.erca.go.jp/jfge/training/covid19_symposium_2021.html
または右のQRコードからお申し込みください



お問い合わせ

地球環境基金 研修事務局
TEL : 044-520-9505 E-MAIL : kikin_kensyu@erca.go.jp

主催 独立行政法人 環境再生保全機構 (ERCA)

後援 環境省 (予定)

協力 地球環境パートナーシッププラザ (GEOC)

プログラム

開会挨拶・趣旨説明 14:00-14:05 (独) 環境再生保全機構 地球環境基金部 部長 秋保 裕幸

◆ 基調講演 14:05-14:25

持続可能な社会づくりに向けた環境NPO/NGOの役割

環境省大臣官房総合政策課民間活動支援室
企画官 浅原 堅祐 氏

◆ 報告 14:25-14:40

新型コロナウイルス感染症による影響調査（報告）
及び地球環境基金の取組について

(独) 環境再生保全機構 地球環境基金部
地球環境基金課

◆ 事例発表 14:40-15:10

コロナ禍で実践した活動の転換～ケニア・イシニア地区
における学校植林（一緑運動）の事例～

(特非) ICA文化事業協会
理事長 佐藤 静代 氏

人口が減るからこそ豊になる人づくり・町づくり・社会づくり
～岩手県陸前高田市広田町からの挑戦～

(特非) SET 理事長 三井 俊介 氏

休 憩

◆ パネルディスカッション 15:20-15:55

コロナ禍を契機としたNGO/NPO活動や組織運営における学びの共有

モデレーター (特非) CRファクトリー 理事 五井 利明 氏
ファンドレイジング・コンサルタント/上級ウェブ解析士 堤 大介 氏

登壇者 (特非) ICA文化事業協会 理事長 佐藤 静代 氏
(特非) SET 理事長 三井 俊介 氏

閉会挨拶 15:55-16:00 (独) 環境再生保全機構

モデレーター/登壇者プロフィール

モデレーター



(特非) CRファクトリー
理事 五井 利明 氏

2011年CRファクトリーに参画。数多くのコミュニティやプロジェクトの運営実績から、幅広い知見やバランス感覚に定評がある。NPO・行政・企業それぞれの勤務・事業の経験から、それぞれのちがいを理解した支援が可能。多くの協働事業のコーディネートを手がける他、講師・ファシリテーターとして年間100回以上登壇。誰もが「共に生きたい」と思える世の中を実現したいと願い、多様な組織の経営や事業に参画。（一社）JIMI-Lab（代表理事）、認定NPO法人かものはしプロジェクト（日本事業マネージャー）、(株)ウィル・シード（インストラクター）など。



ファンドレイジング・
コンサルタント/
上級ウェブ解析士
堤 大介 氏

2010年に楽天株式会社にて新卒入社。新規事業開発系部門にて広告企画、マーケティング、webディレクション、事業開発などに従事し6年間勤務。2011年よりプロボノとして複数のNPOの支援、立ち上げを経験。2016年より(株)PubliColにて、非営利組織の戦略コンサルタントとして2年間従事。2018年より(株)STYZに参画し非営利組織向け寄付プラットフォームSyncableのサービス開発、コンサルティング部門の立ち上げを行い、2019年に公益組織支援のコンサルタントとして独立。支援テーマはビジョン・ミッション策定、事業計画立案、ファンドレイジング、Webマーケティング、ボランティアマネジメントなど。

登壇者



(特非) ICA文化事業協会
理事長 佐藤 静代 氏

米国シカゴアカデミー等卒業後、テネシー州メンフィス市で地域開発手法、ファシリテーション技術を研究し1982年に日本に帰国。帰国後、NPO法人ICA文化事業協会を設立。1995年～1997年及び2020年には世界35カ国を束ねるICAインターナショナルのプレジデントを歴任。1988年にICA Japan理事長に就任以来今日に至る。この間 ICAJ は24カ国で300回以上の途上国支援及び国際協力事業を企画・実践。特に植林・環境保全事業は1989年のICAJの事業開始以来、今日まで33年に渡り継続している貴重な事業である。



(特非) SET
理事長 三井 俊介 氏

2009年サッカー×国際協力を行う学生団体WorldFut設立。2011年に任意団体SETを設立し、2012年法政大学卒業と同時に、陸前高田市広田町に移住。2013年SETをNPO法人化し、理事長に就任。2019年に内閣総理大臣賞受賞。2020年4月より宮城大学大学院博士前期課程へ進み、宮城大学の非常勤講師としても教鞭を取る。社会起業大学1期生、新公益連盟北海道・東北ブロック共同代表、元岩手県陸前高田市議。